

その他案件(2)

学研北生駒駅周辺まちづくり構想策定等について

《目的》

学研北生駒駅周辺地域は、市北部に位置し、生駒市第5次総合計画や都市計画マスタープランにおいて「地域拠点」に位置づけられている。

現在、県道枚方大和郡山線の整備に合わせ、大規模な沿道型店舗の立地が予定されており、個々の事業者が、自己のエリアだけで土地利用を行うと、地域拠点としての良好な街並みが形成されない。

このため、魅力的で一体感のある拠点地区の形成を図るため、民間開発との協調・連携のもと上位計画との整合性を図りながら、まちづくり構想として目指すべきまちのビジョンの作成と必要な基盤整備のあり方を検討することを目的とする。

《都市計画マスタープランでの位置づけ》

第1章 都市の将来像

7 将来の都市構造

都市構造の基本的な考え方

【方針③】拠点が連携するコンパクトな都市づくり

【地域拠点】

- ・主要駅周辺地区（学研北生駒駅等）は、鉄道利用による利便性を活かしつつ、市民の利便性を高めるため、各駅周辺における地域・地区の生活サービス・交流・居住等機能の充実と、駅周辺の歩きたくなるまちづくりを図る。特に、学研登美ヶ丘、学研北生駒の各駅は、都市拠点を補完する商業・交流等の機能強化を図る。

第2章 全体構想

2 目標実現に向けてのまちづくり方針

2-3 「誰もが移動しやすいコンパクトなまちづくり」の方針

【方針2】地域拠点を強化する

- ・学研北生駒駅周辺は、大学院大学や企業への研究者や訪問者等に対応した各種便利施設、サービス提供、交流空間の確保など、民間開発との連携のもと、更なる活性化に向けて質の高い拠点整備を推進する。

第3章 地域別構想

2-1 北部エリアのまちづくりの方針

都市的な土地利用の方針

【地域拠点等の駅周辺の拠点地区】

- ・商業サービス・生活利便施設等の賑わい機能の充実
- ・地域の玄関口としての、魅力あるまちなみ形成
- ・周辺の地域資源と連携した、歩きたくなる環境の充実
- ・まちなか居住の充実

《平成25年度予定事業案》

1 まちづくり構想作成

学研北生駒駅周辺の関係主体（地権者、事業者等）とともに、（仮）学研北生駒駅周辺まちづくり協議会を立ち上げ、当該地域のまちづくり目標や方針、ルールづくり等を検討し、まちづくり構想を策定する。

2 都市計画道路の見直し検討

学研北生駒駅周辺の土地利用計画等を踏まえ、当該地区における将来交通量を推計し、都市計画道路の見直し検討を行う。

3 都市計画マスタープランの見直し検討

生駒市第5次総合計画の基本計画の見直しに合わせ、市の都市空間の基本的な方向性を示す都市計画マスタープランの一部見直しを行う。

《業務支援》

・公募型ポロポーザル方式による業者選定

平成25年7月1日・・・公示

平成25年8月7日・・・第2次審査（候補者決定）

平成25年8月中旬・・・契約締結予定

